

10月24日(月)

折り紙でつなげる心

色鮮やかな折り紙の作品が、職員室に届きました。内側に回転させると形が変化する、不思議な作品です。

作品を作ったのは2年生のKさん。学校やおうちで、とても熱心に作っているそうです。ちょうど校長室に来てくださっていた、八幡東警察署の西野さんにも「素晴らしいね!」とほめていただきました。



回転させると形が変化します



いい作品だ、グータッチしよう!



Kさんが中心になり、3人で作った作品『ハートのかたまり・ながながつながり』を持って来てくれました。「教えるのが楽しかった。」とKさん。「優しく教えてくれて、折り紙が楽しくなった。」と二人の友達。色とりどりのハートがつながっていますね。

10月25日(火)

秋空高く航空写真

皿倉小学校は今年、創立30周年を迎えます。そこで、学校の30歳をお祝いする写真を飛行機に乗ったカメラマンさんに撮っていただくことにしました。

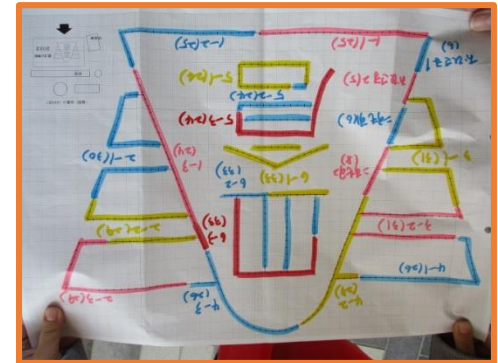
みんなは、赤・青・黄色のビニールでできたカラーエプロンを首からかけて、校章（皿倉小学校のマーク）の形に引かれた線の上に並びます。待っていると真っ青な空に、カメラマンさんに乗せたセスナ機がやってきました。



「飛行機やってきたよー！はい、みんなー、エプロンの端を持って、まっすぐ広げてー！」

と、教頭先生が声をかけると、みんな一斉にエプロンを空に向かって広げました。

空には、佐賀空港から飛んできたセスナ機が皿倉小学校のまわりをゆうゆうと巡回しています。皿倉小学校やみんなの様子は、空からどんな風に見えたのでしょうか。30周年記念式典のときにお披露目される写真の仕上がりが楽しみです。



10月26日(水)

3年生社会科「消防の仕組み」 消防士さんと一緒

3年生の社会科では、地域社会における災害や事故の防止のための仕組みを調べたり、人々の安全を守るための仕事の種類やその役割について学んでいます。

今日は、北九州市消防局から3人の消防士さんにご来校いただき、火事を見つけたときの通報の仕方や、消防士さんの服装（装備品）や道具についてのお話消火器の使い方などについて学習しました。

ホースの先端を持たせてもらったとたんに、「うわっ、重たい！」の声。これに水が流れるホースがつくとその重さは10kg以上になることもあるそうです。



火は空気の流れによって勢いが強くなります。「小さな火だから大丈夫」と、思わないようにしてください。



消火器は、火を消すために正しく使わなくてはなりません。もしも、の時のためにしっかり練習しましょう。



消防士さんが火事から北九州市を守るために、日頃から訓練していることや、通報や器具の取り扱いを正しく行うことの大切さを学習することができました。

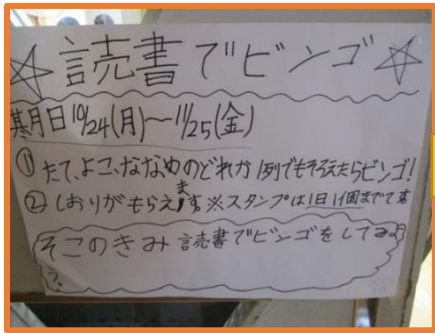
10月27日(木)

読書は心の栄養です

今日は、皿倉小学校の「北九州市子ども読書の日」の活動を紹介します。

午前中は、槻田小学校の保護者の方々を中心に活動していらっしゃる「たんぽぽ」の会のみなさんによる読み聞かせや、各学年でのブックトークや読書クイズなどを行いました。

午後は、昼休みの読書ビンゴや図書委員会による本の紹介カード作成・掲示などが行われました。



☆ 読書でビンゴ ビンゴカードにスタンプを集めよう ☆

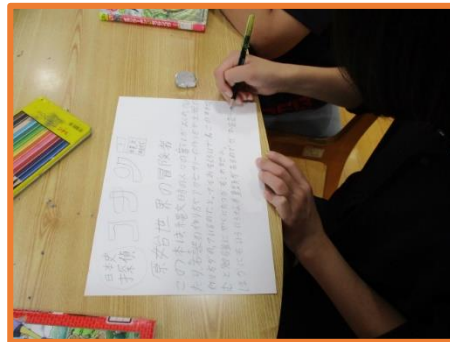
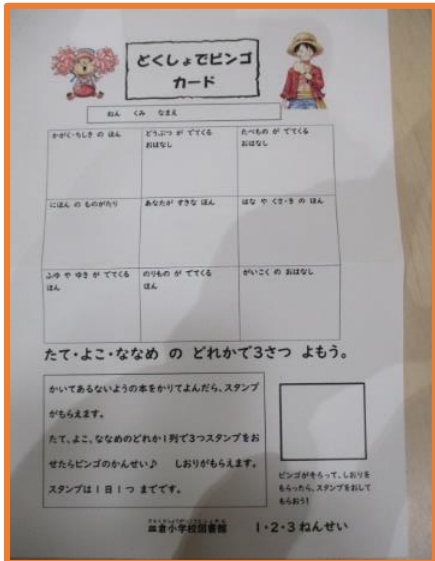
期間：10月24日～11月25日

① たて、よこ、ななめのどれか1列でもできたらビンゴです。

② ビンゴになったら、しおりがもらえます。

読書ビンゴカードの枠は全部で9つ。

それぞれに、「たべものがでてくるお話」「どうぶつがでてくるおはなし」等のテーマが書かれています。そのテーマに沿った本を借りて読んだら、スタンプを押してもらえます。



6時間目、図書室では図書委員会のみんなが、おすすめの本の紹介カードを描いていました。様々な本のカード、できあがりを楽しみます。

10月28日(金)

さらくらまつり「ぼうさいのおみせ」準備

2022年10月30日(日) 皿倉まつり限定

ぼうさいのおみせ 非常食について知ろう



皿倉小学校

北九州市防災マスコットキャラクター チェックル

防災(ぼうさい)のお話を聞いてくださったみなさんに、**非常食をひとつ**プレゼントします。

備えておくと、安心ですよ。

プレゼントする非常食は6種類の中のどれかひとつです。
選べません。
ご了解ください。



この中から 1つ プレゼントします

今回お配りする非常食は、北九州市危機管理室のご協力で、市内各地の避難所で、使用されているものと全く同じものをご提供いただいています。

イタリアンリゾット、パスタ、ドライカレーなどの非常食メニューにこれまでのイメージが一変されるに違いありません。

10月30日(日)、3年ぶりに開かれる「さらくらまつり」。今年は尾倉市民センターの「尾倉ふれあいまつり」と合同で行われます。「さらくらまつり」では、皿倉小学校PTAのおうちの方々や地域のみなさんによる「おまけつきあてくじ」や「まとあてゲーム」、「スーパーボールすくい」などのお店が並びます。

また、運動場では、献血車やはしご車、ポンプ車、自衛隊車、パトカーなど地域の安心安全を守る車の試乗体験もあります。そこで、皿倉小学校はみんなで防災の備えについて考える「ぼうさいのおみせ」を開いて、非常食のことをみんなにお知らせする活動をすることにしました。お店を手伝いたいと希望してくれた6年生4名、5年生5名、4年生2名、3年生3名の14人で準備を進めています。

<ぼうさいのおみせ 店員さんたちにインタビュー>

Q: どうして「手伝いたい」と思ったのですか?

A: 前に食べた非常食の「救急カレー」がおいしかったので、みんなにも非常食のことを教えてあげようと思いました。(3年生)

A: お手伝いをして自分も非常食がもらえるなら「ラッキーやん。」と思いました。(5年生)

A: 自分は、おうちの人や地域の人にたくさん助けてもらっているから、これをすれば、みんなの役に立てるかもしれん、と思いました。(6年生)

A: 僕は苦手なことが多いけれど、これならできるし、がんばれると思いました。たくさんの人に非常食のことを知ってほしいです。頑張りたいです。(6年生)

